

【緊急メッセージ】立命館大学体育会の皆さんへ（第 2 報）

立命館大学学生部長 川方裕則

新型コロナウイルス感染症の感染者は、近畿地方においても日々増加の一途をたどっています。そして、いくつかの大学では課外自主活動団体での集団感染（感染クラスター）の発生も報道されています。

一方、小中高等学校は夏休みに入り、また政府の GoTo トラベル事業がスタートし、遠方からも関西に観光に訪れる人が急増することが予想されます。また、本学キャンパス内では、対面型の授業が始まり、これまで以上に多くの学生が入構するようになってきています。

このような状況の中、残念ながら、**活動再開後の気の緩み**ととらえられても仕方がない状況（大声をあげての練習、マスク非着用での密集および声出し、食堂の長時間利用）が散見されています。これらの行動は、**日常生活での気の緩みにもつながるものであり、当然ながら、感染および感染拡大のリスクを高めます。**

皆さんの活動は、とても大切な営みです。しかし、正課の授業が実施される中、市民の方が生活をされる中で並行するものであり、クラスターの発生を防ぐ感染対策との関係において、決して「優先される活動」ではないことを重く受け止めて下さい。自分たちで自分たちの活動の価値を下げたり、活動を停止させたりする原因をつくらないように、気を引き締め直してください。

7 月 14 日付のメッセージで記載したことは再掲しませんが、もう一度、注意深く読み直して下さい。また、manaba+R で配信された「**キャンパス内外における新型コロナウイルス感染および感染拡大防止に向けた注意喚起**」（http://www.ritsumei.ac.jp/startup/online2020/assets/file/ja_Alert_to_prevent_the_spread_of_new_coronaviruses_on_and_off_campus.pdf）**もあわせて読み込んで下さい。**そして、新たに以下のことに留意するようにして下さい。

皆さんの活動が、少しでも安全に、少しでも長く継続していけるように、部員全員が適切な行動を継続的にとることを、改めて強く要請します。感染症対策が不十分な団体は再度、活動を停止することになります。

- 1) **活動中やキャンパス内の移動中に不必要な声を出さないこと。**お互いに窓を開けた状況で、授業と体育会活動がおこなわれています。**授業の実施に支障をきたすと判断した場合、その活動は停止とします。**そもそも、感染拡大防止のためにも、不必要な声を出さないことは要請済みです。
- 2) **生協食堂等での長時間の食事、会話は慎んで下さい。**入構する学生が増えている中、特に気を付けて下さい。**皆さんが立命館大学生の模範となる行動をして下さい。**
- 3) **練習中以外はマスクを常時着用すること。**対面での、ましてマスク非着用でのミーティングは、感染リスクを高める行為であり、厳禁です。オンラインを有効活用して下さい。
- 4) 発熱などの症状がある、濃厚接触者となった可能性がある、同居家族が PCR 検査を受けることになった、などの場合は、大学の HP に従い、必要なところに速やかに連絡をして下さい（<http://www.ritsumei.ac.jp/news/detail/?id=1705>）。

以上